



Time:17:40時点

※前回報:1月7日報 Vol:07

統括部 物流・調達課

今週のTOPIC

地政学的リスクの高まりにより85ドル水準へ続伸。情勢悪化如何により90ドル台を伺う展開

■ [1月CP] プロパン: \$740 (前月比▲\$55)、ブタン: \$710 (前月比▲\$40) ■ [12月MB平均]: 537\$ (前月比▲\$119)

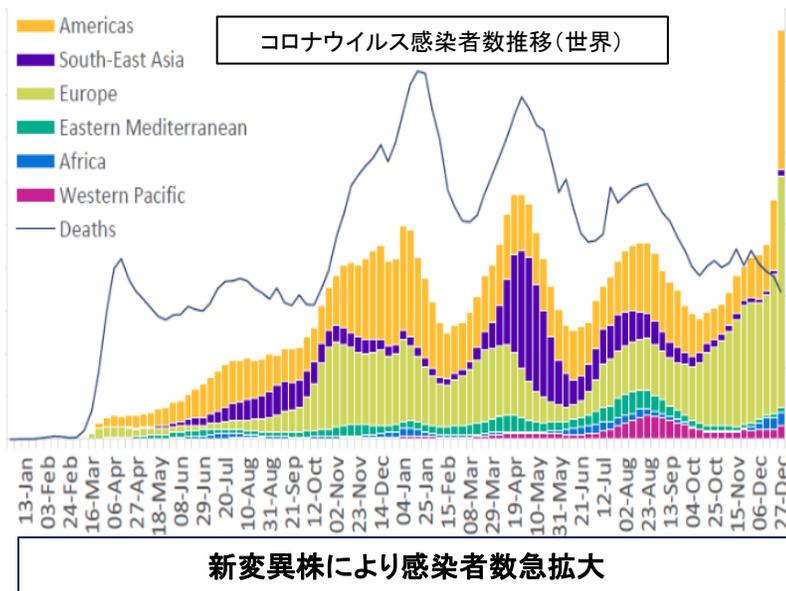
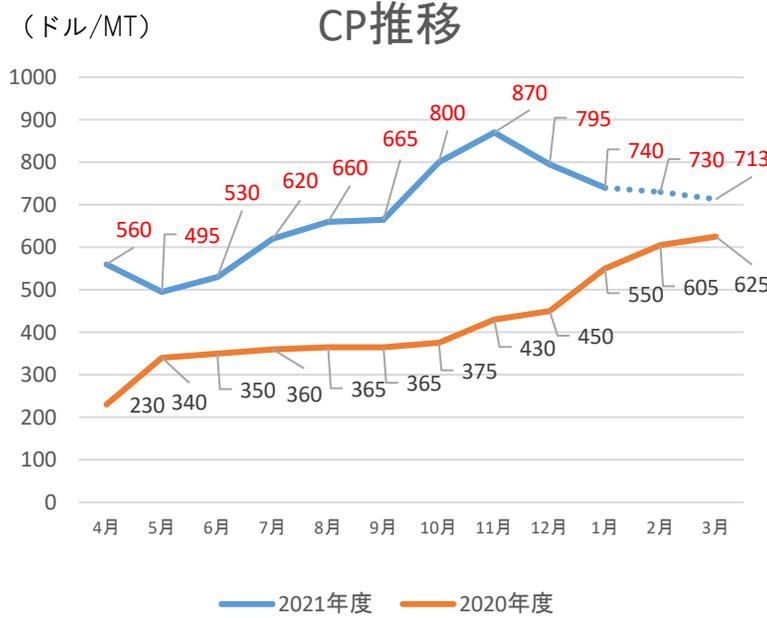
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI	83.88	80.11	+3.77
北海Brent	86.82	82.57	+4.25

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 2月	730	▲10	105%	▲7%
MB 1月	605	+25		

プロパン	3月	4月	5月	6月	7月
CP先物	713	685	664	641	632
プロパン	2月	3月	4月	5月	6月
MB見通し	598	578	559	545	536

外航フレートSPOT (USD/MT)	今回	※前回	前回比	
中東-日本	67.5	70.0	▲2.5	
米国-日本 (パナマ運河経由)	112.0	118.0	▲6.0	
為替/TTS	1月	12月	11月	10月
USD/円 20日(確定)	115.85	114.83	114.96	113.02
USD/円 末日(予測)	115.63	114.88	115.14	114.11



LPG元売り2月改定幅予想値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: +560~+1,160	▲2,160~▲1,560
ENEOSグローブ	改定レンジ: +270~+870	▲2,340~▲1,740
アストモスエネルギー	改定レンジ: +270~+870	▲2,340~▲1,740
ジクシス	改定レンジ: +260~+860	▲2,340~▲1,740

マーケット概況

	今回	※前回	前回比	今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	34,715.39	36,236.47	▲1,521.08	TOPIX (円)	1,927.18	1,993.62 ▲66.44
S&P500 (US\$)	4,482.73	4,696.05	▲213.32	金 (Gold)先物 (US\$)	1,832.85	1,792.20 +40.65
米国債券10年利回り (%)	1.792	1.723	+0.069	VIX恐怖指数 (%)	26.44	19.61 +6.83
日経平均 (円)	27,522.26	28,444.21	▲921.95			

当レポートの内容は伊藤忠エネクス株ホームライフ部門 統括部/物流・調達課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

地政学的リスクの高まりにより85ドル水準へ続伸。情勢悪化如何により90ドル台を伺う展開

原油概況

★原油100ドル論再浮上。底堅い需要と地政学リスクにより上振れ可能性大

影響度

強気・
上昇要因



- ① ウクライナ侵攻によりLNG供給停止に伴う原油シフトによる需給逼迫懸念
- ② トルコ-イラク間の輸送障害、UAE等の情勢悪化に伴う供給不足懸念
- ③ IEAが新変異株の影響は限定的との見方。原油需要は底堅く推移想定

弱気・
下降要因



- ① 中国での感染拡大。中国経済減速によりエネルギー需要減少懸念
- ② OPEC+は従来方針維持により原油供給量の段階的増加
- ③ 米高インフレに伴い保有資産縮小観測も浮上し景気後退懸念

LPガス概況

★プロパン市況は原油価格上昇により下支え。2月CPは730ドル前後を想定

(強気) 米プロパン低在庫。アメリカ北部への寒波により需要増加を想定

(弱気) 米天然ガスプラントの生産能力増強に伴う随伴LPガスの増加見通し

(弱気) OPEC+政策による段階的原油増産幅拡大に伴う随伴LPガスの増加

「地政学的リスクとは」

特定地域が抱える政治的、軍事的な緊張の高まりが、地理的な位置関係によって、その地域や関連地域の経済、世界経済全体の先行きを不透明にするリスクのことを指します。例えば、紛争やテロへの懸念により、原油価格等の石油関連価格の値上がりや為替通貨の乱高下を招くことが挙げられます。